



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月8日

上場会社名 中央紙器工業株式会社

上場取引所 名

コード番号 3952 URL <http://www.mcpack.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山下 雅司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務企画部長 (氏名) 前 賢太 TEL 052-400-2800

四半期報告書提出予定日 2018年11月12日 配当支払開始予定日 2018年12月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	6,087	3.1	403	△15.1	445	△11.0	305	△7.4
2018年3月期第2四半期	5,907	6.9	475	5.3	500	4.5	329	5.5

(注)包括利益 2019年3月期第2四半期 330百万円 (△11.2%) 2018年3月期第2四半期 372百万円 (106.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	61.43	—
2018年3月期第2四半期	66.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	13,364	11,513	86.2
2018年3月期	13,378	11,282	84.3

(参考)自己資本 2019年3月期第2四半期 11,513百万円 2018年3月期 11,282百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2019年3月期	—	20.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,300	1.6	770	△7.2	830	2.3	540	11.1	108.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(6)会計方針の変更」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期2Q	5,225,008 株	2018年3月期	5,225,008 株
2019年3月期2Q	258,022 株	2018年3月期	258,022 株
2019年3月期2Q	4,966,986 株	2018年3月期2Q	4,966,986 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の2ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) セグメント情報等	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 会計方針の変更	7
(7) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益・雇用環境に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、7月以降の相次ぐ自然災害の影響により、先行きは不透明な状況にあります。一方、世界経済においては、米中間の貿易摩擦、地政学的リスクなどの懸念がありますが、好調な米国経済を背景に、全体としては緩やかな成長が続いております。

このような経済環境の中、国内段ボール市場においては、概ね全分野に渡り、前年を上回る水準で推移いたしておりますが、依然として原紙等の材料価格の値上りは続いております。

こうした状況下において、当社グループは、原紙等材料価格高騰に対して、製品価格改定と生産性向上を中心とした原価低減活動に取り組み、徐々にその成果が出始めております。また、お客様への深耕を図るべく販売提案活動の継続と新規獲得にも注力しております。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、国内では自動車関連を中心に物量が増え、また、国内・中国ともに製品価格改定が進んでいることにより、売上高については増加しております。利益については、収益改善の成果が顕れ計画を上回ったものの、原紙価格の値上がり分を完全回収するには至っておらず、結果として増収減益となりました。

以上により、売上高は60億87万円(前年同四半期比3.1%増)、営業利益4億3百万円(前年同四半期比15.1%減)、経常利益4億45百万円(前年同四半期比11.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益3億5百万円(前年同四半期比7.4%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本は、売上高は50億83百万円(前年同四半期比3.0%増)、セグメント利益3億53百万円(前年同四半期比23.4%減)となりました。

中国は、売上高は10億3百万円(前年同四半期比3.2%増)、セグメント利益3百万円(前年同四半期はセグメント損失32百万円)となりました。

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は101億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が56百万円増加したことによるものであります。固定資産は32億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ43百万円減少いたしました。

この結果、総資産は、133億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は12億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億45百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が1億20百万円減少したことによるものであります。固定負債は6億48百万円となりました。

この結果、負債合計は、18億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億45百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は115億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億31百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益3億5百万円及び剰余金の配当99百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率86.2%(前連結会計年度末は84.3%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2018年5月10日に公表いたしました決算発表時の通期業績予想は見直しを行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,355,173	7,412,119
受取手形及び売掛金	2,124,724	2,062,692
電子記録債権	436,216	453,616
商品及び製品	118,754	125,887
仕掛品	18,092	19,944
原材料及び貯蔵品	50,277	49,111
その他	21,488	30,786
貸倒引当金	△476	△472
流動資産合計	10,124,249	10,153,685
固定資産		
有形固定資産	1,972,672	1,905,462
無形固定資産	45,888	40,273
投資その他の資産	1,235,237	1,264,635
固定資産合計	3,253,798	3,210,370
資産合計	13,378,048	13,364,056
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	787,659	666,897
未払法人税等	139,155	133,854
賞与引当金	125,960	112,908
役員賞与引当金	33,840	16,920
その他	361,140	271,576
流動負債合計	1,447,756	1,202,156
固定負債		
役員退職慰労引当金	55,280	60,200
退職給付に係る負債	541,211	537,001
その他	51,693	51,196
固定負債合計	648,185	648,398
負債合計	2,095,941	1,850,554
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,077,895	1,077,895
資本剰余金	980,562	980,562
利益剰余金	8,838,443	9,044,245
自己株式	△72,138	△72,138
株主資本合計	10,824,761	11,030,563
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	430,189	467,710
為替換算調整勘定	27,155	15,228
その他の包括利益累計額合計	457,344	482,939
純資産合計	11,282,106	11,513,502
負債純資産合計	13,378,048	13,364,056

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	5,907,200	6,087,553
売上原価	4,402,609	4,598,880
売上総利益	1,504,590	1,488,672
販売費及び一般管理費	1,029,523	1,085,490
営業利益	475,066	403,182
営業外収益		
受取利息	1,176	745
受取配当金	17,316	18,404
持分法による投資利益	—	5,515
仕入割引	3,821	4,958
その他	10,823	13,597
営業外収益合計	33,138	43,221
営業外費用		
持分法による投資損失	4,285	—
売上割引	179	155
ゴルフ会員権評価損	2,600	493
その他	493	2
営業外費用合計	7,558	650
経常利益	500,645	445,753
特別利益		
固定資産売却益	1,865	—
特別利益合計	1,865	—
税金等調整前四半期純利益	502,511	445,753
法人税、住民税及び事業税	154,774	137,022
法人税等調整額	18,082	3,589
法人税等合計	172,857	140,611
四半期純利益	329,654	305,141
親会社株主に帰属する四半期純利益	329,654	305,141

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	329,654	305,141
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64,314	37,520
為替換算調整勘定	△15,527	△7,121
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,195	△4,804
その他の包括利益合計	42,590	25,594
四半期包括利益	372,245	330,735
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	372,245	330,735

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,934,625	972,574	5,907,200	—	5,907,200
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,934,625	972,574	5,907,200	—	5,907,200
セグメント利益又は損失 (△)	462,198	△32,715	429,482	45,583	475,066

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額45,583千円には、セグメント間取引消去49,959千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,083,846	1,003,706	6,087,553	—	6,087,553
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,083,846	1,003,706	6,087,553	—	6,087,553
セグメント利益	353,879	3,979	357,858	45,323	403,182

(注) 1. セグメント利益の調整額45,323千円には、セグメント間取引消去49,758千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（6）会計方針の変更

在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第9号（金融商品）及びIFRS第15号（顧客との契約から生じる収益）を適用しております。

当該会計基準の適用が連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

（7）重要な後発事象

該当事項はありません。

1. 当期（2019年3月期 第2四半期累計）の連結業績

(1) 連結経営成績・・・今決算増収減益

(単位:百万円)

	当第2四半期 (2018.4.1~2018.9.30) (第68期)		前年同四半期 (2017.4.1~2017.9.30) (第67期)		増減額	
		百分比		百分比		増減率
売上高	6,087	100.0%	5,907	100.0%	180	3.1%
営業利益	403	6.6%	475	8.0%	△71	△15.1%
経常利益	445	7.3%	500	8.5%	△54	△11.0%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	305	5.0%	329	5.6%	△24	△7.4%
1株当たり 四半期純利益	61.43 円		66.37 円		△4.94 円	

連結決算対象会社

- ・子会社 4社 (中央興産株式会社、中央コンテ株式会社、
香港中央紙器工業有限公司、CHUOH PACK(MALAYSIA)SDN. BHD.)
- ・持分法適用会社 4社 (MC PACK(MALAYSIA)SDN. BHD.、宏冠實業(香港)有限公司、
澤邦發展有限公司、東莞宏冠包装印刷科技有限公司)
- ・売上高の連単倍率 1.2 倍

《増収要因》 国内においては、主要取引先である自動車関連を中心に物量が増加したこと、また、国内・中国ともに製品価格改定が進んでいることにより増収となった。

(新規顧客獲得 15社 25百万円)

・業種別販売状況

(単位:百万円)

	当第2四半期 (2018.4.1~2018.9.30)		前年同四半期 (2017.4.1~2017.9.30)		増減額	
		構成比		構成比		増減率
自動車関係	3,954	65.0%	3,742	63.4%	211	5.6%
電気機械関係	1,559	25.6%	1,590	26.9%	△30	△1.9%
食品関係	82	1.4%	125	2.1%	△42	△34.1%
その他	491	8.1%	448	7.6%	42	9.5%
合計	6,087	100.0%	5,907	100.0%	180	3.1%

・品目別販売状況

(単位:百万円)

	当第2四半期 (2018.4.1~2018.9.30)		前年同四半期 (2017.4.1~2017.9.30)		増減額	
		構成比		構成比		増減率
段ボール製品	4,877	80.1%	4,704	79.6%	173	3.7%
(段ボールケースほか)	(4,697)	(77.2%)	(4,472)	(75.7%)	(224)	(5.0%)
(三層段ボールケースほか)	(180)	(3.0%)	(231)	(3.9%)	(△51)	(△22.1%)
その他(化成品ほか)	1,209	19.9%	1,202	20.4%	7	0.6%
合計	6,087	100.0%	5,907	100.0%	180	3.1%

《増減益要因：対前期営業利益》

増益要因	・ ・ ・ ・	238 百万円
	①製品価格及び販売構成の変動、収益改善の効果	
	②売上増加による効果	
減益要因	・ ・ ・ ・	△309 百万円
	①購入品価格変動の影響等	
	②固定費の増	
営業利益		△71 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円
2019年3月期 第2四半期	13,364	11,513	86.2	2,318.01
2018年3月期	13,378	11,282	84.3	2,271.42

2. 配当の状況

	1株当たり配当金			配当金総額 (年間) 百万円	配当性向 (連結) %	純資産配当率 (連結) %
	第2四半期末	期末	年間			
2019年3月期 (予想)	円 銭 20.00	円 銭 20.00	円 銭 40.00		36.8	
2018年3月期	20.00	20.00	40.00	198	40.9	1.8

3. 通期(2019年3月期)連結業績予想

通期業績予想については、2018年5月11日に公表したとおりです。

増収増益 予想

(単位:百万円)

	通期予想(2019年3月期)		前期(2018年3月期)		増減額	
		百分比		百分比		増減率
売上高	12,300	100.0%	12,104	100.0%	195	1.6%
営業利益	770	6.3%	829	6.8%	△59	△7.2%
経常利益	830	6.7%	811	6.7%	18	2.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益	540	4.4%	486	4.0%	53	11.1%
1株当たり 当期純利益	108.72 円		97.87 円		10.85 円	

重点取組事項

◎中長期3カ年方針(2016年～2018年) 最終年のやりきり

- ①国内事業のダントツ化
- ②海外事業の展開
- ③新規事業の構築



1. 安全・健康で働きがいのある職場づくり
2. 環境変化に対応できる人材育成
3. CSとCSRの向上活動
4. 既存お客様への深耕による拡販および新規お客様への訴求
5. 商品開発・生産技術開発の向上による競争力強化
6. 原価低減に向けた生産・調達・物流体制の強化 ⇒ T P Sを踏まえた原価低減
7. 新規事業の構築(デザイン事業構築および新素材・新技術の開発・検討)
8. 海外事業の展開(既存拠点の基盤強化と新拠点の調査・検討)